

日本山岳救助機構 (jRO:ジロー) 会員の皆様

2017 年度事後分担金のご通知とご報告 および 2016 年事後分担金の精算についてのお知らせ

① 2017年度事後分担金のご通知 **500 円**

● 会員期間開始日が属する計算期間の、上記の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。

- ・事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレッジ制度の遭難救助費用補填金及び臨時費用補填金(以下補てん金と略)の総額を会員総数で除したものです。
- ・2017年度の計算期間は2017年1月1日～12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様に、1会員あたり500円の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。
- ・団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日(管理期間)が2017年1月1日～12月31日の場合に、2017年の事後分担金のお支払いをお願いいたします(現行規約上、団体・家族各会員の開始日が2017年に属していない場合でも、本会員開始日が2017年の場合には、2017年の事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします)。
- ・事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
- ・計算方法についてはP2～4をご参照ください。

② 2016年補てん金額の確定による相殺(割引)額 **▲200 円**

● 対象となるのは2017年のjRO会員、かつ2016年事後分担金をお支払済みの会員の方です。 (退会者等を除きます。下記※注をご参照ください)

- ・2016年度の事後分担金は昨年500円と算出しましたが、2017年10月18日現在補てん金総額がほぼ確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2016年度補てん金総額を上回ったため、2016年更新会員の方に**▲200円**を相殺(割引)させていただきます

※注:2017年にjRO会員で、かつ2016年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行うことができません。ご了承をお願いします。

- ・すでに退会済、または2017年はjRO会員でない方
2017年度事後分担金のご案内および2018年度への更新ご案内が送りできない場合等
- ・2016年の本会員(団体、家族会員の本会員)がすでに退会している方
2016年は個人会員で2017年更新時に個人を退会し、新たに団体へ加入した場合等
- ・2016年と2017年では、本会員が異なる方
所属の団体を変更した場合等
- 各会員に関しての金額の詳細は2017年度から2018年度への更新の案内をご参照ください。
- 2016年事後分担金の確定額計算については別紙2016年補てん金お支払い実績表(確定)をご参照ください。

上記に対象の方の2017年事後分担金は、1会員あたり**300円**(500円－200円＝300円)となります

この件のお問い合わせはjRO事務センターへお願いいたします。

2017年補てん金お支払い実績表 (★未請求含む)

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	乗鞍岳	テント設営準備のため、スキーを外そうとしたところ、転倒。その際スキーが滑り膝に痛みが走る。副側靭帯損傷。リフトで降ろせないため、スキー場スノーモービル出動費が発生。	負傷	¥10,000
1	白馬乗鞍岳 天狗原	天狗原へスプリットボードで登山中に転倒。その際、左肩脱臼。成城大学小屋まで自力下山し、そこからスノーモービルにて救助される。	負傷	¥37,368
1	甲武信ヶ岳	※ 単独 下山予定時刻を大幅に遅れ、家族が警察へ救助要請。自力下山。救助隊による捜索費用が発生。	特になし	¥20,000
1	富士山	※ 単独 詳細不明。公的機関捜索終了後、数次にわたり捜索が続けられた。事故発生日(推測)より約半年後に発見。	死亡	¥1,507,369
1	奥多摩 (詳細不明)	※ 単独 奥多摩方面にて行方不明(状況証拠より推測) 登山届なし。jRO 会員である友人へ奥多摩へ行くとの連絡あった。また、自宅から奥多摩のマップが無くなっている。捜索対象は広範囲。	不明	¥3,300,000 ★
2	岐阜県白川村 野々俣谷標高1100M付近	※ 単独 詳細不明。山スキー中に誤って沢に滑落し溺死たものと思われる。事故発生5日後に発見される。	死亡	¥254,328
2	アノブプリニセコエリア	スノーボード滑降中、春ノ滝にて雪崩に巻き込まれ死亡。	死亡	¥199,251
2	比良山系 皆子山	※ 単独 皆子山から下山中に滑落。翌日発見されたが死亡が確認された。	死亡	¥400,000 ★
3	北アルプス 西穂高岳	※ 単独 凍りついた雪庇を岩と誤り踏み抜き100mほど滑落。警察へ救助要請。当日は視界不良によりヘリの出動が出来ずビバーク。翌日7時過ぎにピックアップ、最寄り医療機関へ収容された。救助の際にGPS情報のやりとりあり。	負傷	¥325,691
3	野沢温泉スキー場	※ 単独 野沢温泉スキー場外で倒れている所を別のスノーボーダーに発見される。スノーボード中に滑落、木に衝突したものと推測される。	死亡	¥154,300
3	奥多摩 西谷山石楠花尾根	※ 道迷い 2名パーティで石山神社から入山。タワ尾根を縦走、午後雪の為、タワ尾根分岐付近でビバーク。翌昼頃、西谷避難小屋を通過、七跳山手前の石楠花尾根を下山中、道に迷いビバーク。翌日1名は低体温症にて死亡。もう1名は2日後に救助隊により発見される。	死亡	¥350,000 ★
			負傷	¥100,000 ★
3	北アルプス 西穂高岳	※ 単独 西穂高岳より下山中、ピラミッドピークから独標へ向かう途中で岐阜県側へ100mほど滑落。本人が携帯電話で救助要請。事故発生2時間後ヘリにて救助、最寄り医療機関へ収容される。GPS情報のやりとりあり。	入院	¥110,260
3	南アルプス 甲斐駒ヶ岳	※ 単独 下山中に55mほど滑落、死亡。県警ヘリにて収容される。駆けつけ費用、遺体搬送費用が発生。	死亡	¥308,280
4	長野県 小川山	クライミングルートへのアプローチ中に落石により負傷。人力ストレッチャーで下山後、軽トラ、救急車、ドクターヘリを乗り継ぎ医療機関へ搬送。応急処置に同行者の装備を使用。	負傷	¥200,000 ★
4	北アルプス 剣岳	源次郎尾根南西斜面と平蔵谷にて二度の雪崩に遭遇、県警山岳警備隊が事故を目撃していた為、隊員によって救助要請が行われた。消防のヘリにて収容される。	負傷	¥38,136
			死亡	¥345,431
5	北アルプス 剣岳	八ツ峰の頭のコルへの下りで三ノ窓雪渓側へ350mほど滑落。左足首骨折、全身打撲、頸椎捻挫。	負傷	¥38,641
5	日光 金精山	金精山直下を登山中に雪と岩がミックスしたガレ場でバランスを崩し50mほど滑落。同行者により救助要請。事故発生約2時間後に消防のヘリにて最寄医療機関へ収容される。	入院	¥31,200
5	北アルプス 前穂高岳	3峰1ピッチ目終了点付近で滑落。宙ぶらり状態で意識不明。同行者により岩壁から収容後、ヘリにて救助。最寄医療機関にて死亡が確認された。遺体搬送費用、駆けつけ費用、消耗品費用発生。	死亡	¥400,000 ★
5	福島県 丸山岳周辺(?) 推測	※ 単独 丸山岳から家族への連絡を最後に以降連絡が途絶える。下山予定日を過ぎたため家族が警察へ救助要請。警察、有料救助隊、ドローン等による捜索が続けられている。	不明	¥3,300,000 ★
5	北アルプス 北穂高岳	単独 詳細不明。沢に滑落したと思われる。公的機関による一次捜索終了後、20日後に民間捜索隊にて発見された。	死亡	¥305,649
6	尾瀬 山ノ鼻付近	山ノ鼻キャンプ場周辺で転倒し頭を強打、出血。意識がもうろうとなり小屋へ運び込まれる。翌日ヘリと救急車を乗り継ぎ医療機関へ収容。	入院	¥44,022

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
6	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	雪渓トラバース中にスリップし滑落。その際に左肩脱臼。人力ストレッチャーにて搬送。有料救助隊出動、駆けつけ費用発生。	負傷	¥209,295
6	北アルプス 白馬岳	大雪渓を下山中に滑落。足の粉碎・圧迫骨折 頸椎骨折。県警ヘリにて救助される。	負傷	¥120,550
6	大雪山 北鎮岳	※ 単独・道迷い 旭岳登頂後、北鎮岳分岐より雪渓を通り黒岳を目指す道迷い。登山道への復帰を目指すが大どりに着けず傾斜もきつくなり行動不能になる。15時ごろ本人により警察へ救助要請。GPS情報、周辺の状況、体調、装備状況などを伝える。通報より2時間後ヘリにより発見。さらに2時間後地上からの救助隊により発見。その日は黒岩石室まで付添下山、ピバーク。翌日ロープウェイにより付添下山。	特になし	¥69,796
7	北アルプス 錫杖岳	錫杖岳烏帽子岩前衛フェースを登はん中、落下。警察のヘリにより救助され、病院へ搬送。	入院	¥50,850
7	北アルプス 白馬岳 大雪渓	※ 単独 猿倉より白馬山荘に向け登山中、大雪渓岩室上部をトラバース中にスリップし滑落。	死亡	¥400,000★
7	北アルプス 上高地	本橋谷付近にて登山中つまづいた衝撃で右すねが折れる。下山を決意し、漢方薬をのみ安静にするが、時間経過とともに両足、腹部、手などもつり歩行不能となった。横尾山荘まで救助隊と付添下山。横尾山荘から有償車両にて上高地まで、そこから救急車へ乗り継ぎ病院へ収容される。入院3日。	入院	¥71,913
7	宮崎県 比叡山	比叡山Ⅰ峰南面奥の細道3ピッチ目を登はん中に20m程登ったところで滑落。取っていた支点がすべて抜けビレイヤーより下方2ピッチ目の途中で停止。周辺クライマーの協力もあり取り付きまで下降後、ヘリにてピックアップ。	入院	¥97,434
7	北アルプス 唐松岳 牛首付近	※ 単独 牛首付近の雪渓にて200mほど滑落。山小屋へ救助要請。気象条件に阻まれヘリによる救助は失敗、また地上部隊による救助も地形条件により難航する。4度目のドクターヘリによる飛行にて救助、病院へ搬送される。	負傷	¥189,647
7	北アルプス 南岳	南岳小屋を出発後、10分程度のところで突然倒れる。県警ヘリにより医療機関へ収容されたが死亡が確認された。	死亡	¥429,141
7	北アルプス 燕岳	燕山荘到着後、気分が悪くなり行動不能となった。県警ヘリにより最寄り医療機関へ収容される。	入院	¥80,175
7	南アルプス 易老岳	登山口出発10～15分後に休憩を取った後、再出発直後に突然倒れた。	死亡	¥300,000★
8	南アルプス 北岳	大樺沢付近にて石に足をとられ滑落。白根御池小屋へ収容、翌日ヘリにて最寄り医療機関へ収容される。	負傷	¥289,700
8	滋賀県 比良山系 御殿山	沢登り中、三ノ滝にて滝つぼに滑落し溺死。防災ヘリにて医療機関へ収容されたが死亡が確認された。	死亡	¥125,724
8	北アルプス 剣岳北方稜線 小窓雪渓	仲間2人と登山中、標高約2350m地点で滑落し、同行者が110番通報。県警山岳警備隊が救護し病院へ搬送したが、死亡が確認された。	死亡	¥197,757
8	後立山連峰 岩小屋沢岳	新越山荘付近にて転倒し、その際、鉄筋が手のひらに刺さる。付近山小屋まで自力下山。そこから付添下山。登山口から救急車で病院へ収容される。	入院	¥99,720
8	飯豊連峰 北岳岳	※ 単独 水を汲むため下った際に木の枝に足を挟まれ転倒し左ひざを痛めた。自力下山出来ず携帯電話で警察へ救助要請。悪天によりヘリ出動不可、地上部隊により搬送された。	入院	¥21,788
8	北アルプス 三ッ岳周辺	※ 道迷い 同行者と離れて歩いていて三ッ岳～野口五郎小屋の途中尾根にて道迷い。斜面で転倒し打ち身、擦り傷を負う。同行者へ連絡。同行者より救助要請。救助隊により烏帽子小屋へ搬送され、翌朝県警ヘリにて救助。	負傷	¥155,160
8	富士山	富士山より下山中意識消失により転倒。クローラー、救急車を乗り継ぎ医療機関へ搬送。急性腎不全、高度脱水症状。	入院	¥40,000
9	北アルプス 針ノ木岳	針ノ木小屋に向けて登山中に急に倒れて意識不明となる。救助費用、駆けつけ費用・遺体搬送費用の見込み。	死亡	¥600,000★
9	北アルプス 奥穂高岳	奥穂高岳から下山中に滑落。県警ヘリにて救助される。遭対協より救助費用発生。	入院	¥100,000★
9	八ヶ岳 赤岳	スズメバチにさされ行動不能となる。謝礼費用発生見込み。	負傷	¥50,000★

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
9	北アルプス 槍ヶ岳 北鎌尾根	北鎌尾根登山中に滑落。同行者により救助要請。県警ヘリにより救助されたが死亡が確認された。遺体搬送費用、駆けつけ費用発生。	死亡	¥ 550,000 ★
9	北アルプス 薬師岳	※ 単独 太郎平から薬師沢へ下るルート第3 渡渉点手前の木道で滑って転倒。その際右足を骨折。	入院	¥ 50,000 ★
9	阿曾原温泉から 池の平方面へ 40分地点	※ 単独・滑落 登山道をあやまり足を滑らせ25mほど滑落。登り返しが困難だったため、付近の登山者により山小屋へ救助要請。救助隊によりロープ確保で登山道へ復帰。宇奈月温泉まで付添下山。	負傷	¥ 91,110
10	中ア 仙涯嶺 ケサ沢	※ 道迷い ルートを間違えビバーク。救助隊とともに付添下山。	特になし	¥ 300,000 ★
10	北アルプス 槍ヶ岳	※ 病気 槍ヶ岳山荘内にて意識混濁となる。翌日ヘリにて病院へ搬送される。高山病・肺水腫。	入院	¥ 65,280

総額 (11/1 現在) 【支払済 + ★未請求 (見込) 額】			A	¥ 16,534,966
推計値 (11/1 現在未報告案件及び 11/2 以降発生案件に対応するため 下記参照)			B	¥ 16,500,000
2017 事後分担金算出の基礎数字 (事後分担金計算式の分子) A + B			C	¥ 33,034,966
2017 会員総数 (11/1 現在のエラー無会員総数)			D	72,592 名
2017 事後分担金 C ÷ D = ¥ 455 (端数切り上げ)			E	¥ 500

◎推計値 (B 欄 ¥ 16,500,000円) の算出について

- 一般的に12月には遭難が他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。過去においても例えば2016年は4件、2015年は2件、2014年は3件、2013年は4件、2012年は2件4名のカバレッジ対象となる遭難事故が発生しています。2012年の場合は、長期にわたる捜索活動を必要とする事案が発生しました。また、jRO会員数は2009年末を例とすると会員数約1万名に比べて、本年度は7.2倍の会員数(約7.2万名)となり、事故件数はそのまま7.2倍とはなることはないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- 遭難事故の発生からその通知まで約1カ月以上かかるケースが多く、また11月までの未報告案件のあることも考慮する必要があります。
- B欄 1,650万円という推計値は前記のような過去の経験値を勘案し算出いたしました。
- 2017年の補てん金額が確定されるのは2018年11月を予定しております。
- 算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。
- 別紙に2016年度補てん金お支払い実績表(確定)を掲げました。

2016年補てん金お支払い実績表(確定)

●2017年事後分担金の精算(相殺処理)金額: ▲200円

●2017年11月現在、昨年度補てん金お支払対象案件は下表以外の発生は想定できません。よって以下を2016年補てん金(カバレッジ金額)総額といたしました。

★未請求案件

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	中ア 檜尾岳	下山中、主尾根を外したと気がつき戻ろうとするが戻れず、沢に迷い込み現在地も不明な為に救助要請。	特になし	¥1,088,281
1	八ヶ岳 大同心稜	本人より警察へ「下山予定が一日遅れビバークした。これから下山する」との連絡あり。対応した署員が本人のろれつがまわっておらず低体温症の疑いありと判断したため、家族の同意を得たうえで捜索活動を開始する。翌日も発見に至らず。以後断続的に捜索が行われたが発見されなかった。7ヶ月後登山仲間により発見された。	死亡	¥286,308
1	徳島県 天狗塚	登山中に体調不良の為、歩行不能となる。同行者に降ろしてもらい最中に意識不明。防災ヘリにて最寄り医療機関へ収容。	死亡	¥87,960
1	大雪山系 旭岳	下山予定日になっても帰らないと、家族が旭川東署に通報。7ヶ月後登山者により発見される。	死亡	¥1,775,568
1	福島県 大倉山	13:50に入山。トレースが四方にあり、山頂を巻いてしまいいろろとしたが道迷い。21:00ごろ登山口で待機していた夫へ電話連絡したが、電波状況が悪く途切れ途切れ。この電話を受け夫が警察へ救助要請。警察と夫で呼びかけ等の捜索を行うが、21:40頃打ち切り。本人は一晚中歩き続け林道まで下山。翌5:30頃待機していた警察に保護される。翌日出動予定だった警察犬の飼育者よりキャンセル料が発生。	特になし	¥10,000
2	八ヶ岳 蓼科山	夏道を辿り蓼科山から双子山へ向かう下りで、強風によりバランスを失い滑落。戻れなくなったため警察へ救助要請。	特になし	¥114,660
2	中ア 木曾駒ヶ岳	下山中、道がわからなくなる。同行者の滑落もあり、合流地点でも視界不良が続き、現在地の特定が不可となり警察へ救助要請。	特になし	¥59,768
3	新潟県 かくらスキー場	バックカントリー滑走中、天候の急変によりガスにまかれ道迷い。視界不良のため、さらに迷い込みスキー場事務所へ連絡。	特になし	¥6,667
3	秋田県 森吉山	ガスの中、小屋から山頂へ向け出発するが1,400m地点で引き返す。下山路を見失いビバーク。翌日早朝に自力下山。	特になし	¥20,470
3	中ア 空木岳	下山中、約2,200m付近にて滑落。その際頸髄損傷。消防ヘリで病院へ収容後、死亡が確認される。	死亡	¥183,000
4	新潟県 雁ヶ峰	単独のため詳細不明。数次にわたる警察や遭対による捜索活動の他、ドローンや民間救助隊による捜索が行われた。1年2ヶ月後に発見される。	死亡	¥3,300,000
4	北ア 蓮華岳	蓮華大沢右俣をスキー滑降中、転倒。アイスバーンで200m滑落。斜面の吹き溜まりで倒れているのを同行者が発見。	死亡	¥642,053
5	北ア 北穂高岳	他の登山者から滑落の目撃情報が寄せられ、山頂から300mほどの斜面で倒れているのが発見され、死亡が確認された。	死亡	¥227,000
6	朝日連峰 大朝日岳	下山中に転倒。その際に左足首骨折しビバーク。翌朝ヘリで救助される。	負傷	¥584,503
7	富士山	八合目付近でめまいが始まる。本八合目トモエ館に到着するが極度の下痢になる。歩行不能となり救助要請。	特になし	¥40,000
7	巻機山 米子沢	滝でバンド状の途中にある大きな岩に両手で体重をかけたところ岩が動きバランスを崩し、4mほど滑落した。	入院	¥70,488
7	中ア 木曾駒ヶ岳	下山中、千畳敷ホテル手前で突然倒れる。ホテル従業員や付近登山者により救命措置がとられたがヘリで病院へ搬送後、死亡が確認される。	死亡	¥182,874
7	南ア 北岳	草すべりにて右足を滑らせ転倒し右足首を骨折する。白根御池小屋のスタッフが通りかかり、小屋まで付添下山と救助要請をする。	負傷	¥61,600
7	北ア 燕岳	下山中、合戦小屋より10分程度の登山道で転倒。その際、左脛骨高原骨折する。	負傷	¥104,260
7	北ア 白馬岳	ザレた下りで足を滑らせた際に負傷。徐々に痛みがひどくなったため白馬山荘で診察を受け左足首骨折の疑いがあるため救助要請。	負傷	¥60,000
7	新潟県 八海山	下山中、ハツ峰迂回路の鎖場にて8mほど滑落。遭難当日はヘリが飛ばず1泊ビバーク。翌日ヘリにてピックアップ。	入院	¥139,468
8	北ア 白馬岳	熱中症と脱水症状を発病。自力での歩行が困難となり救助要請。	特になし	¥60,000
8	北ア 檜ヶ岳	殺生ヒュッテに宿泊中、突然呼吸が出来なくなり、息苦しさで翌朝まで続いた。狭心症の疑いありと診断され救助要請。	特になし	¥145,196
8	南ア 北岳パットレス	4尾根を登はん予定が3尾根を登ってしまい行き詰る。ヘリにて搬送されるが死亡が確認された。2名のうち1名のみjRO会員。	死亡	¥763,332
9	大峰山 稲村ヶ岳	単独のため詳細不明。家族のSNS上の呼びかけにより一般登山者も捜索に加わり、3週間後に発見される。	死亡	¥1,085,119
9	尾瀬 燧ヶ岳	足を滑らせ転倒。その際右手をつき右肩完全脱臼する。携帯が繋がらないため燧小屋まで下山。救助隊と山岳警備隊により救助。	負傷	¥70,000
9	朝日連峰 大朝日岳	大朝日岳より下山途中、二股付近にて道迷い。上倉山山頂で電波が入った為、朝日鉱泉へ救助要請。上倉山山頂でビバーク後、翌日救助隊と合流し付添自力下山。	特になし	¥241,860
10	森吉山	7人パーティーで桃洞沢を登り、赤水沢を降降中に日没によりビバーク。宿泊予定の山荘の関係者が北秋田署へ通報。翌日の朝から捜索を開始。正午過ぎに自力で下山しているのを発見された。7名共同遭難、全員jRO会員。	特になし	総額 ¥58,500
10	長野県南佐久郡 湯川の岩場	トップロープでの登はん後、下降する際にロープワークを誤り12~13mグランドフォール。脳挫傷。	入院	¥46,129
11	南ア 北岳	巻道にて滑落(単独のため詳細不明)15:00ごろ本人よりメールにて複数人に救助要請。そのうち1名が警察へ連絡。約1時間後に救助隊が遭難者を発見。その日は日没のため救助活動は断念。翌日遭難者と接触したが死亡を確認。ヘリにて収容。	死亡	¥922,840
11	越後駒ヶ岳	下山口の八海山ロープウェイ駐車場に駐車後、駒ノ湯から登山開始したところ、駐車場管理者が遭難と判断し救助要請。5名共同遭難、全員jRO会員。	特になし	総額 ¥139,917
11	丹沢 菰釣山	単独のため詳細不明。道に迷い、滑落したものと考えられる。警察による捜索終了後、民間救助隊により発見。スマホのGPS軌跡を家族がPCで確認、本人位置を推定した。	死亡	¥719,206
11	北ア 立山	トラバース中に6名パーティー全員が雪崩に巻き込まれる。うち3名が自力脱出。3名埋没。自力脱出した3名により埋没3名を救助。うち1名が死亡し、1名が低体温症。3名のうち2名jRO会員、うち1名は他の山岳保険にも加入によりそれぞれ按分負担。	死亡 病院収容	¥181,096 ¥96,780
12	富士山	富士山から下山中に八合目付近で滑落。翌日七合目付近で心肺停止状態で発見された。	死亡	¥68,740
12	中ア 宝剣岳	単独のため詳細不明。8ヶ月後に発見される。一次捜索終了後、主に友人により捜索活動が行われた。請求手続き中。	死亡	¥3,300,000
12	八ヶ岳 横岳	三叉峰ルンゼ登はん後、石尊峰で懸垂下降中に滑落。地元遭対協の救助費用および駆けつけ費用発生。	入院	¥168,946
12	大峰山 小普賢岳	登山道に戻ろうと支尾根の岩壁を登はん中滑落。山小屋の関係者が下山が遅い事に気づき救助要請。途中で転滑落もあった。ビバーク2泊あり。	入院	¥1,024,250

2016年度補てん金額合計

¥18,136,839^{※1}

2016年度事後分担金確定額および精算額について
 2016年事後分担金の確定額は、上記実績表通りの補てん金お支払い状況と会員の方からの事後分担金お支払い状況により、お一人当たり300円とさせていただきます。
 これに対し2016年以前にご入会の会員の方は既に500円の事後分担金をお支払いいただいております。
 このため200円を返金させていただきますが、2017年度事後分担金としてお払いいただく際に相殺処理させていただきます。
 ご了承をお願いいたします。
 相殺後の金額は2017年度事後分担金額をご参照ください。

2016年度事後分担金支払い状況	口座請求額	振替不能額	お支払込額
1月1日~10月31日口座請求実績	¥31,611,000	¥2,811,000	¥28,800,000 ^{※2}
11月1日以降請求予定金額 (口座振替・クレジット・その他含む)	¥2,836,500	¥283,650 ^{※3}	¥2,552,850
合計	¥34,447,500	¥3,094,650	¥31,352,850
2016年度補てん金額	¥18,136,839 ^{※4}		
超過額: A	¥13,216,011 ^{※5}		
事後分担金お支払済み人数: B	62,706 ^{※6}		
事後分担金精算額: A/B	¥200 ^{※7}		

※1 お支払補てん金総額
 ※2 郵便振替支払い含む
 ※3 過去実績より約10%と推定
 ※4 受付済み未請求事故1件(★)を含む。※1と同じ
 ※5 ¥31,352,850 - ¥18,136,839
 ※6 10月末までの会員数および11月以降予定人数
 ※7 ¥210.7円の100円未満を切捨て